

# 小学校国語 A (主として「知識」に関する問題)

平成26年度  
全国学力・学習状況調査

## 問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。漢字、故事成語、言葉の意味や使い方、文章の読み取りなどが出題されています。

## 全体の正答率

\* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して  
2.2%下回っています

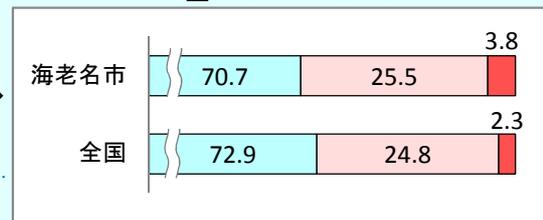
《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語A	70.7	71.3	72.9	-2.2

誤答の様子は…

《誤答の内訳(%)》

■ 正答 ■ 誤答(書いたが誤答だった)  
■ 無解答(何も書かなかった)

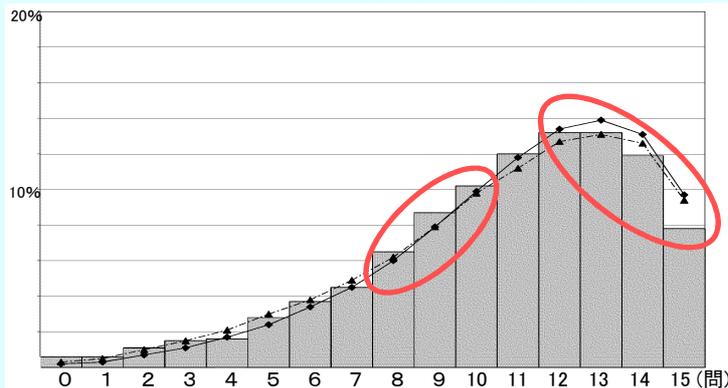


無解答率(何も書かなかった)は3.8%でした。

分布の様子は…

《正答数による分布》

■ 海老名市 -▲- 神奈川県 ◆ 全国



全国と比較すると  
正答数が8~10問の児童が多く  
12問以上の児童が少ない  
ことがわかります

\* 正答率50%以下(0~7問)の児童の割合は16.5%でした。(全国は14.2%)

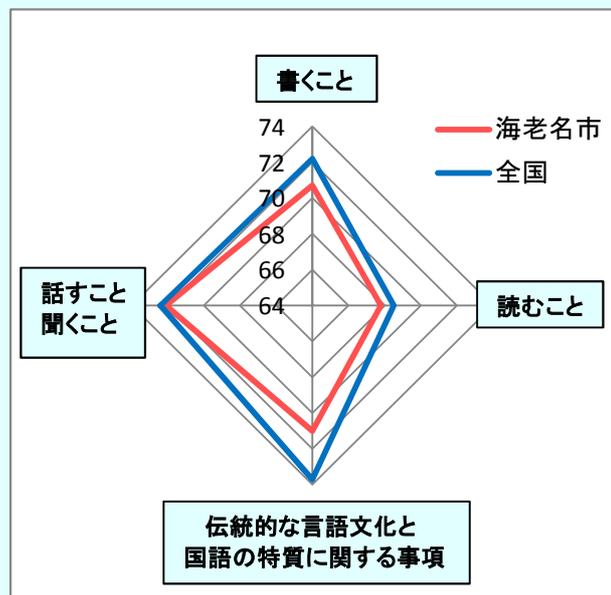
\* 正答率80%以上(12~15問)の児童の割合は46.1%でした。(全国は50.3%)

## 領域別の正答率

全領域において全国と比較して  
やや下回っています

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	72.1	72.4	-0.3
書くこと	70.7	72.2	-1.5
読むこと	67.8	68.5	-0.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.0	73.7	-2.7

- \* 「話すこと・聞くこと」については、ほとんど差がありませんでした。
- \* 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、2.7%下回っていました。



## 内容について

\* ( )内は、平均正答率の全国との比較

全国  
を上  
回った  
項目

- 登場人物の心情を正しく理解し、情景描写で適切なものを選ぶ。(＋2.2)
- 物語の会話から、登場人物の関係をとらえる。(＋0.7)

全国  
を下  
回った  
項目

- 故事成語の意味と使い方(五十歩百歩、百聞は一見にしかず)(-4.9)
- 漢字を読む。(勢い)(-4.7)  
漢字を書く。(祝う)(-4.4)
- 言葉の意味を読んで、文章にあてはまるものを選ぶ。(計る、測る、量る、図る)(-4.4)

### 国語Aで平均正答率が全国を下回った設問の例

故事成語の使い方として最もふさわしいものを選ぶ設問 (全国との比較-7.5%)

「五十歩百歩」

- 1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意してもめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。
- 2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。
- 3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、五十歩百歩だ。

正答 3

☆国語Aのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

## 考 察

- ◆ 全国と比べて、正答数が12問以上の児童が少なく、正答数が8～10問の児童が多いことから、基礎的な力を確実に身につけさせる必要がある。
- ◆ 漢字の読みと書きについては、多くの児童ができているものもあるが、定着の状況に差があり、確実に身につけるための指導の工夫が求められる。
- ◆ 故事成語の意味や使い方を理解することに課題があり、学習した言語の定着を図る必要がある。

## 指導の改善にむけて

- ◆ 「基礎基本となる学力を定着させる」ために
  - つまづきやすい学習項目を整理し、指導する。
  - 学力の定着度に応じて、反復練習等により指導する。
- ◆ 「故事成語や漢字など、言葉の意味や使い方の理解と定着」のために
  - 生活の中で、故事成語や学習した漢字を活用できるように指導する。
  - 国語辞典を使って言葉の意味や使い方などを調べることを習慣づけるように指導する。